

《小学生の部》

優秀作（国務大臣・国家公安委員会委員長賞）

埼玉県久喜市立太田小学校

1年 森永 紗礼

とうげこうできをつけること

わたしは、ことしの四がつからしょうがつこうににゅうがくして、こどもたちだけのとうこうはんでがつこうまであるいてとうこうするようになりました。

おとながいっしょにいないときにそとをあるくのははじめてで、はじめはきんちょうしましたが、五ねんせいのはんちょうさんについていってあるいていっています。

わたしのつうがくろは、じゅうたくがいのなかにあるどうろをとおっていきます。このどうろはほどうがないばしょがおおいので、くるまにひかれないようにはしっこをあるくようにしています。たまに、くるまがすごいはやさできゅうにまがってきたりするので、まえをよくみてあるくこともたいせつです。

また、おうだんほどうでは、みぎ、ひだり、みぎをかくにんして、てをあげてわたるようにしています。がつこうのちかくのおうだんほどうには、けいさつかんのひとや、はたふりのおとうさんおかあさんもいて、こどもたちをみまもってくれています。

かえりは一ねんせいだけのげこうはんでかえります。いえがとおくにあるわたしは、とちゅうからはひとりになってしまうときもあります。そんなときは、ちいきのみまもりのおじいちゃんがいっしょについてきてくれたりもします。

まいにち、たくさんのひとたちのおかげであんぜんにとうげこうできています。ほんとうは、くるまにのっているひとがスピードをだしすぎないようにしたり、こどもたちも、とびだしたりよそみをしないなど、かならずルールをまもれば、みまもりがなくてもあんぜんにとうげこうできるのになとおもいました。

おかあさんに、このことについてはなしたら、

「そうだね。ひとりひとりがしっかりと、こうつうあんぜんをいしきするのがだいじだね。」

とうなずいてくれました。そして、もうひとつ、

「でも、まだぜんいんがルールをまもれていないから、じぶんのことはじぶんでまもらなければいけないね。」

といわれました。

「おうだんほどうのしんごうがあおだとしても、ほんとうにくるまがきていないかも

いちどかくにんしてからわたること。くるまのしんごうがあかでも、とまらずにはしって  
きてしまうくるまがいるかもしれないからね。」

おかあさんのはなしをきいて、わたしは、しんごうがあおでも、もういちどまわりをよ  
くみてからわたるようにしようとおもいました。二がっきからはもったきをつけて、これ  
からもあんぜんなとうげこうをしていきたいとおもいます。